

大西 さとる

東京都議会議員



【大西さとるプロフィール】昭和36年生まれ。立命館大学経済学部卒、早稲田大学大学院修士課程修了。11年間のサラリーマン生活ののち、細川律夫衆議院議員第一秘書を経て、平成13年都議選に挑戦するも惜敗、平成17年に都議選に初当選。文教委員会委員長、オリンピック招致委員会理事、都議会民主党幹事長代行などを歴任。現在3期目、公営企業委員会副委員長。

◎平成28年第1回定例議会で大西さとる都議会議員が一般質問を行いましたので、要旨をまとめてご報告させていただきます。

I 週休3日制の実現を！



大西さとる
質問内容

知事は、ワークライフバランスを推進し、家庭環境、労働環境をよくするために週休3日制も考えるべきだと発言され、先日の所信表明でも触れられている。私は、この週休3日制、大賛成である。この議論を始めるに当たって起爆剤が必要であると思うが都はどのようにして進めていくのか。

【答弁】働き方の改革という機運を醸成するために、労使団体とともに東京都は共同宣言を行った。来年度は、企業自身が働き方の見直しを宣言する制度を創設する。そして、具体的な取り組みを促すとともに、生産性の向上に向けた支援も行いたいと思っている。こうした取り組みによりまして、豊かな生活を享受できる社会を実現していきたいと思っている。



東京都議会本会議場にて

憲判断を下している。寡婦控除についても、この制度の見直しを求める動きも高まっていて、自治体によっては保育料などに寡婦控除をみなし適応して減額するところも出てきた。東京都としても未婚のシングルマザーにも寡婦控除の適応が必要！

【答弁】寡婦控除は、配偶者と死別あるいは離婚した後、婚姻をしていない人で、生計を一にする子がいる場合などを対象とした税法上の所得控除。寡婦控除の適用範囲の拡大は、税法上の問題であり、婚姻歴のないひとり親は、税負担に加え、保育料を初めさまざまな制度の利用料等においても控除の対象となるひとり親世帯との間で経済的負担に差が生じていることから、都としては、婚姻歴のないひとり親にも寡婦控除を適用するよう、他の道府県とともに国に要望している。

II 女性が働きやすい職場環境の整備を！



大西さとる
質問内容

お母さんにとって、職場やその近くで保育サービスが受けられれば安心して大助かりである。セクハラ、マタハラはもってのほか！子育てしやすいような短時間勤務、あるいは、家にいながらにしても働けるテレワークなどの拡大などによって、全ての女性が働きやすくなるのではないかと。

【答弁】女性の能力発揮を推進する社内責任者の育成やテレワークの導入等に要する負担の軽減など、ソフト、ハード両面から中小企業に対して支援をしている。また、労働相談情報センターで実施している職場のハラスメント防止や労働法に関するセミナー等を通じて意識啓発を行っている。今後とも、女性が生き生きと活躍できる職場環境の実現に向け、取り組んでいく。

III 未婚のシングルマザーにも寡婦控除の適応が必要！



大西さとる
質問内容

結婚していない男女間の子の遺産相続の取り分を、結婚した男女の半分とする民法の規定については、最高裁は、法もとの平等に反すると違

IV 自転車利用者にルールマナーの普及を！



大西さとる
質問内容

事故をなくすためにも、自転車を利用する人へ、ルールやマナーを幅広く普及するため、東京都や各事業者、警察などが一体となったキャンペーンを実施することや、バス利用者への啓発など車内事故防止対策を進めるべき！

【答弁】自転車安全利用推進計画に基づき、警視庁、区市町村、民間事業者など関係団体と連携し、キャンペーンや交通安全教室の開催、自転車安全利用リーフレットの配布などを通じて、自転車利用者に対し、一時停止の遵守等、交通ルールの周知徹底を図っている。

V バス運行における安全確保に行政が担う役割は大きい!



大西さとる
質問内容

消費者がバス会社やツアーを選ぶときに、安全のコストまでカットしている事業者なのかどうか直接確認はできず、安全確保に行政が担う役割は大きいものとする。バス会社に発注を行う旅行会社に対して、安全性の確保を十分に踏まえて注文するように、都として対応を図るべきだと考える!

答弁 都は、事故発生後速やかに、都の所管の旅行業者に対して、安全の確保と事故の再発防止の徹底を通知により要請をした。さらに現在、安全確保の状況などについて、旅行業者の立入検査を行い、その結果を踏まえ、国と協議しながら適切に対応していく。

VI 白タク行為の合法化断固阻止!



大西さとる
質問内容

今、世界のタクシー業界は、スマートフォンを使えば、二種免許を持っていなくても素人が簡単にタクシーの営業ができるライドシェア、ウーバーの席卷で危機的な状況に置かれている。都内がタク

シー供給量過剰によってタクシー適正化・活性化法に定める要件は十分あるとの認識のもと、都内を特定地域に指定するよう国に対して求めていくべきだと考える!

答弁 国は、いわゆるタクシー適正化・活性化法に基づき、利用者とタクシーとの需給バランスを確保するため、タクシー事業者に供給削減義務が生じる特定地域や、業界の自主的な取り組みを促す準特定地域を指定している。都としては、事業者や地元自治体等を構成員として設置している協議会に参画、引き続き状況を見守っていく。

VII 伝統工芸品を守れ!



大西さとる
質問内容

江戸つまみかんざし、組みひも、切り子のように伝統工芸品は、次世代へと受け継ぐべき価値のある産業であり、技を伝承していく必要がある! 伝統工芸品のPRや販路の拡大など、都の積極的な支援が必要!

答弁 伝統工芸品産業に対する支援について、伝統工芸は、江戸時代から続くものづくりのすぐれた蓄積を現代に伝えるものであり、こうした特色ある産業をさらに発展させ、将来に引き継いでいくことが重要! 国内外の展示会出展への支援を拡充するなど、伝統工芸品産業の持続的発展につなげていく!

その他、第1回定例会で課題に上がった項目をご紹介します。

質疑 01 平成28年度予算成立!

オリンピック後を見据え直面する課題に手立てを

一般会計予算は7兆110億円、前年度に比べて0.8%増加しました。そのうち都債の償還費などを除いた一般歳出は、5兆933億円、4.8%の増加です。

好調な税収を背景とした予算編成が行われる中、都議会民主党は、都民が直面している厳しい現実に対応した予算を求めてきました。代表質問においても、非正規雇用、子どもの貧困や児童虐待、教育格差などの課題に対し、国に先んじて手立てを講じるよう求めました。

知事は「28年度予算で、非正規雇用など雇用・就業対策推進、子どもの貧困対策の強化、不登校・中途退学への取組推進などしっかりと支援する」と答弁しました。

28年度予算には、非正規雇用対策54億円、雇用対策・就業支援104億円、子どもの貧困対策680億円、不登校・中途退学対策7億円、児童相談所の体制強化など78億円のほか、都議会民主党が求めてきた事項に予算が措置されました。



度々空き家対策の推進を求めてきました。代表質問では、本格的少子高齢時代の到来を前に、空き家を都市の資源と考え、総合的に空き家対策を推進すべきと提案しました。知事は「空き家の有効利用・適正管理・発生抑制の観点から総合政策をつくる」と答弁しました。

平成28年度予算では、空き家活用支援3億円、既存住宅流通活性化3千万円、空き家の介護職員宿舎活用2億円が実現しました。



質疑 02 空き家 都内82万戸!

総合的な対策推進を

都内には世帯数を上回る住宅があり、空き家が82万戸あります。都議会民主党は、子育て支援や高齢者施策にも資する利活用を求めると、

ご意見・ご要望をお寄せ下さい

質疑 03 子どもの貧困対策は急務 総合的な取り組みを

子どもの貧困を改善するため、財政面を含めた公的支援を拡充することは急務です。

都議会民主党は、生まれ育った環境に左右されず教育を受けられるよう新たな東京都版給付型奨学金など、総合的な子どもの貧困対策に取り組むよう提案しました。

知事は「各段階における貧困の連鎖を防ぐ取り組みを充実、子供の貧困対策推進連携部会を新たに設置、首都大学東京の研究も入れて対策を進める」と答弁しました。

28年度は、子どもの居場所創設、地域未来塾、ひとり親家庭への家庭教師派遣など、680億円の予算が実現しました。



FAX.03-3849-7846 E-mail satoru@onishi-satoru.jp

連絡先

大西 さとる 事務所

〒121-0816 足立区梅島1-12-6 高橋ビル2F
TEL.03-3849-7847 FAX.03-3849-7846 E-mail satoru@onishi-satoru.jp

都政報告 <http://www.onishi-satoru.jp> 大西さとる 検索

